

# 宝塚市役所放火 + 安部整形外科火災 = 新中央保育園想定外惨事??

新中央保育園で同様の「想定外」の災害が発生した場合どうなるのか？

平成 26 年 2 月 18 日

川瀬 輝彦

あまりに予想される被害の悲惨さから、保育園の先生方に与える精神的ダメージを心配して公開するのを躊躇していましたが、最近の福岡市の、情報公開請求非公開措置などを危惧して、私の以下のレポートを公開することにしました。

## A 宝塚市役所放火

平成 25 年 8 月 22 日に宝塚市役所を訪問して、市役所の防災担当者から火災の状況について説明を受けるとともに、現場を見せていただきました。

そこで知ったのは、煙の恐ろしさです。

人は、炎で焼け死ぬのではなく、高温の煙、あるいは熱風で焼け死ぬ（気道火傷による窒息死）ということです。

今回、6名の負傷者だけで済んだ原因はこの建物が、幸いにも、「想定外」に対応できる**規制以上の安全設計**になっていたためです。

**防災担当者が「奇跡的に死者が出ずに済んだ」と**言っていた設計の内容です。

- 1 宝塚市役所は天井高が、4.415mと高く（中央保育園教室は 2.4~2.55m、3F ホールは 3.15m）、煙が下までたちこめるのに時間がかかる構造になっていたため、それだけ避難する時間の余裕がとれたこと。
- 2 排煙窓（中央保育園にはない）が周囲に設置されていたため、煙を室内に立てこもらせずに（2m より下には煙は来なかった。）外に排出することができ、室内への煙の充満を遅らせることができたこと。
- 3 建物周囲にバルコニーがめぐらされており（中央保育園にはない）、とにかく火の方向とは逆の方向に一斉に避難できたこと（中央保育園には前面道路にしか逃げ道はない）。

これらの、**建築法規が要請する規制以上の安全設計**がなされていたために、110 名が火災に巻き込まれたのに奇跡的に一人の命も落とさず人命を救えたのです。

気道を熱風で火傷して1週間程度入院した方が一番重かったそうですが(脱出の途中で倒れました。)、ポリタンクで撒かれたガソリンの火を消そうと、熱いのを我慢し続けて消火器3本使ったものの、消しおおせずに避難なされた方です。

すぐに火傷するような熱風ではなくても、一定の時間吸い込むと入院を要するような傷害になることを知りました。(別の火炎瓶の火は消火器で消すことができたそうでした。)

直接燃えている火だけでなく、それによって生じる「熱い空気」が凶器となるのです。

熱風の恐ろしさは、炎焼地点から15m程度離れている所の、部署名表示灯のプラスチックカバーが熱でグニヤリと溶けてしまった姿からも想像できます。

この現場に居合わせた人は、職員107名、訪問者3名です。おそらく全員大人だと思えますが、この数でも4名入院治療を要する事態でした。

消防通報が9:38で、全員脱出確認が9:55で、17分程度脱出にかかっています。

自分で逃げられる大人が、四方八方に逃げてもこの状況だったのです。

建物の状況は、壁・天井は不燃材、床・ブラインド等は難燃材でできていたそうです。スプリンクラーは設置されていませんでした。

### 被災現場の状況

- ・火元(ポリタンクでガソリンが撒かれたところ)から7mくらいの所にある電源スイッチのプラスチックカバーは完全に燃えていた。
- ・20m少し離れた場所の壁のクロスや塗装が熱により剥げ落ちていた。
- ・火元から10m程度離れた庁舎案内図のプラスチックカバーも熱により変形していた。
- ・排煙窓は、全部開いてはいなかった。
- ・一か所に撒かれたポリタンクのガソリンが主に燃えたのだが、防火シャッターで区画された部分2,200㎡が被災し、この区域に長くいたら(何分程度か素人の私には不明。)死亡すると思われるすさまじさだった。

## 結論

新中央保育園で同様な事件が起これば甚大な死傷者が出ることは容易に想像できます。

宝塚市役所のように、建物の設計が幸いしたところでも実質4名の負傷者が出たのです。

しかも宝塚の場合、ここにいたのは大人110名だけでしたが、保育園には300名もの乳幼児がいるのです。自分で逃げられない乳児や幼児が110名もいることを考えると、前方出入り口付近で放火されるような事態が起これば、大惨事になってしまいます。

人数が3倍で、大人でなく乳幼児、そして別方向に避難路はない。

そんな中で、泣き叫ぶ子供たちを置いて保育士の先生方が、自分たちだけ逃げることなどできるはずありません。最悪の労働環境と言わざるを得ません。

このような想定外の災難が発生した時、先生方は、子供と一緒に死ぬか、泣き叫ぶ子どもたちを振り捨てて自分の命を守るか、そのような選択を迫られる非情な保育園なのです。

多方向に避難路のないこの保育園はあまりに危険すぎます。

ほぼ全ての大規模保育園は2方向の避難路があります。これにより、被害は相当軽減できるはずですが、また、多くの大規模保育園は、低いフェンスに囲まれ、いざとなったら避難出口だけではなく、フェンス越しに消防や近所の人たちが、子供たちを抱え上げて受け渡し、脱出させることができるのです。

同様の他の保育園が法律以上の安全配慮をしている事実を知っているのに、まともな避難路は前方だけで十分という主張は、子供の命をあまりにも軽く考えているとしか思えません。

普段は法律以上のことをやかましく行政指導する役所が、自分がやる立場になると、「法律は守っていますから安全策は充分です。」と言うのは、厚顔無恥と言わざるを得ません。

火炎瓶やポリタンクでガソリンを撒くなど、有りえないと言うのなら、宝塚ではどうして起こったのでしょうか？また最近、福岡市南区で火炎瓶待ち伏せ事件が実際に起こっていますし、福岡県は手りゅう弾110番がある、全国的にも物騒なところなのです

待機児童解消を急ぐことは、よそと同程度の安全対策を怠る言い訳にはなりません。

他の大規模保育園と同程度の安全対策が確保されている保育園でなければ、親は安心して子供を預けられません。

このままでは、建てても、親が毎日子供のことを心配しながら働かなければならない不幸な事態が起こるでしょう。

これが、福岡市が13億円以上の税金をかけて行う「働くお母さんたちを応援する」結果なののでしょうか？

どんなに法律を守っているから安全ですと言い張っても、この土地に立つ保育園は、危険な保育園であることは宝塚の事例から明白です。

建設を強行している方々に言います。

「想定外の災害が起きたとき、想定外だから私には責任はありませんとは言わせません。

少なくとも、宝塚市役所の放火事件は現実には起こっているのですから、このような事案は想定して安全対策を採ってください。子供の命を、市長の都合で軽く扱わないでください。」

## B 安部整形外科病院火災

福岡市博多区住吉で起こった安部整形外科火災は、自分で避難できない人が、いかに火災の犠牲者になり易いかを教えてくださいました。

現場にいた入院患者等18名中10名が死亡、4名が重傷、1名が中等傷、3名のみ自力脱出できて無事でした。

ただし、無事だった3名の内、1名は外に出ていた入院患者、1名は火災に気が付いて消防通報を依頼した看護師、1名は怪我無く救助でした。

つまり、自力で逃げるのができない方や、逃げ遅れた方は助からなかったのが実情で

す。たった 18 名しかいなかった施設でもこの有様です。自力では逃げられない乳幼児が 110 名いて、保育士の誘導が必要な 3 才児以上を含めると 300 名では死傷者数は安部整形外科の火災と比例します。100 名以上の園児が犠牲となることは容易に想像できます。

## A 宝塚市役所放火+B 安部整形外科火災=新中央保育園想定外惨事

計画によると、新中央保育園では自力で逃げられない乳幼児が 300 名中 110 名(昼間の 2 歳児以下の子供)預かるようになっていきます。

宝塚市役所火災は大人が 110 名に対し、新中央保育園は自分で逃げられない子供が 110 名です。災害発生時の混乱は火を見るより明らかです。

最低限の安全策しか取ろうとしない、福岡市内で最も大きな「詰め込み保育園」で想定外の災害が発生したとき、いったい誰が責任を取るのでしょうか？

どれだけ大規模な犠牲が出てしまうのか、想像するのが怖くなってしまいます。

もしその時、居合わせた先生方は、かりに身体は無事でも、心の傷は一生癒えず同じ仕事を続けるのは無理ではないでしょうか。

### 結論

私は火災や災害については確かに素人です。こんな話は素人の杞憂に過ぎないと言うのなら、福岡市の関係者の方は、具体的に一つ一つ理詰めで説明してください。

別に騒ぎ立てたくてこのレポートを書いたわけではないので、私が見識に不安をあおったのなら、率直に謝ります。

しかし、大規模な犠牲者が出そうだと思うのなら、私の話を聞いてください。

私の結論は以下の通りです。

1. 前面道路以外に避難路を確保できないのなら、潔く保育園を放棄するのが最善の策です。

2. それができないのなら、

- (1) 自分で逃げられない乳幼児の保育は断念すべきです。
- (2) どの程度が適切かは分かりませんが、定員を 300 名よりも少なくすべきです。
- (3) 隣接地所有者と協議して、とにかく人が通れる幅の隙間は全て避難路として利用できるよう手を加え、そこに出られるようフェンスに出入り口を設置するなどして、万が一の時には可能な限り四方八方に逃げられるようにすること。

2 では、全然十分ではありませんが、子供を預けざるをえない親や、そこで働く先生方のために湿性を認めることができないという小さなプライドや意地を張らずにこれだけはやっていただきたいです。

あとは、数十年後に何事もなくこの保育園が使命を終えることを祈るだけです。